

補正予算の主な内容

総務費

総合行政ネットワーク事業 4,700千円

農林業費

たばこ作生産性向上対策助成	643千円
県単独農業農村整備事業(菅元線)	6,000千円
林道改良舗装事業(内田線)	20,000千円
県単治山事業(鶴田地区)	8,000千円

土木費

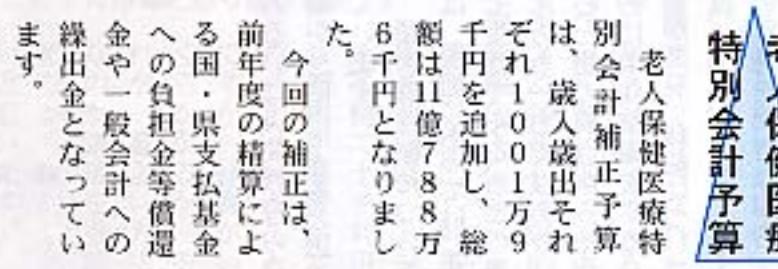
道路整備事業(過疎対策事業) 50,000千円
(久保田線、花立線、西川内線)

教育費

柏原小学校外柵設置工事 900千円
人づくり基金補助金 438千円



村づくり整備事業で進入路の拡幅工事が行われる自慢館



老人保健医療特別会計予算は、歳入歳出それぞれ1001万9千円を追加し、総額は11億788万6千円となりました。今回の補正是、前年度の精算による国・県支払基金への負担金等償還金や一般会計への繰出金となっていました。

Q 建設課長 現在の事業は本年度で終了となるため、来年度以降、新しく事業を立ち上げたい。
Q 武道館横のけや木の内訳は金額が高すぎるのではないか。
A 建設課長 現在の事業は本年度で終了となるため、来年度以降、新しく事業を立ち上げたい。
Q 武道館横のけや木の内訳は金額が高すぎるのではないか。

伐採後の処理も含まれるのか。
A 社会教育課長 クレーン、トラックを借り上げての1日作業でもあります。作業が半日で終わる場合、伐採の処理も含まれている。伐採の処理を終わった場合は業者と相談をする。伐採の処理も含まれている。

Q 学校管理費で外柵工事が計上されているが、どこに設置するのか。
A 教委総務課長 柏原小学校の体育館裏に設置するものであります。体育館建設中木を伐採してあり、そこから子供たちが出入りし危険が予想されるため設置するものです。

Q 保健師の賃金を計上してあるが、保健師は人材が不足している中、公募もされているが採用の見込みはあるのか。
A 住民課長 7月から3月までの臨時保健師として採用する

ものであり、町内の出身者で現在入来にいらっしゃる方に内諾は得ている。予算が通れば正式に依頼したい。

Q たばこ作生産性向上対策助成の対象者は、また、たばこの収穫は既に始まっているが、今から予算を組んで間に合うのか。
A 経済課長 段階では日本たばこの助成がはつきりしておらず4月になつてから内示があり、対象は鶴田地区のたばこ作農家の方であります。

一般計

9773万円の補正

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ9772万9千円を追加し、総額は31億2606万2千円となりました。歳入補正の主なものには、県支出金1630万円、繰越金1938万2千円、町債5890万円となっています。

歳出補正では、総務費485万4千円、農林業費3580万5千円、土木費5000万円、教育費369万7千円などで、今回の中は、当初予算で留保されたいた過疎対策事業による町道整備事業等が主な内容となっています。

Q 村づくり整備事業の工事請負で自家慢館の進入路工事が上げられているが、その事業内容は

A 経済課長 宮之城型バスが進入する場合、反対車線にはみ出して侵入してきていたので、現在6メートルの幅を7.5メートルにするものです。

Q 人づくり基金で19人の応募の内、3人が対象外となっているが、応募内容と対象外の理由は。

A 社会教育課長 授業の一環として勉強をする方。個人的技術を取得する方。もう1人は夫婦で応募をされたが、選考委員会のが対象外となっている理由は。

Q 交付要綱に助成を受けた者は研修報告は受けた者は研修報告を町長に提出し、研修の成果は町民にも公表し、まちづくりにも活用するとあるが、これまで行かれた方でそういったのは出ているのか。また、研修後の報告書は出すべきであるが

A 社会教育課長 活用という面では、広報誌での紹介や、子供については研修会等での発表の場を設けたり、実際利用された方からもよかつたという話を聞いている。

Q 上下大迫線今後の計画は

A 経済課長 良工事の今後の計

6月定例会は、6月18日から6月28日までの11日間の会期で開かれ、平成14年度一般会計・老人保健医療特別会計補正予算、専決処分の承認、税条例の一部改正等の10議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

林道・町道整備を追加

研修した内容を職場や地域に生かすということが本人の負担になり、制度の運用が低下することはないか。これまでの活用方法を伺いたい。

A 町長 復命書は期日内に出てきている。活用については担当課である教育委員会から話があれば検討して使つたらということもありましたので、枠を広げるということもしている。

審議内容の概要

村づくり整備事業の内訳は

人づくり基金の応募は

人づくり基金の研修報告は

上下大迫線今後の計画は